

17 弓道競技

- 1 期 日 (1) 開会式 平成29年6月2日(金) 12:20～
(2) 競技 平成29年6月2日(金) 13:00～
6月3日(土) 9:00～
6月4日(日) 9:00～
(3) 閉会式 平成29年6月4日(日) 12:30～
- 2 会 場 酒田市国体記念体育館弓道場(酒田市飯森山2-296-1) Tel0234-31-5231
- 3 競技規則 全国高等学校弓道大会競技規則および全日本弓道連盟競技規則による。
- 4 競技内容 (1) 種 目 近的競技
(2) 種 別 女子の部・男子の部
(3) 種 類 団体競技・個人競技
(4) 競技場 団体・個人競技ともに2射場10人立を基本とする。
- 5 競技日程 (1) 6月2日(金) 監督会議・競技役員打合せ 11:40～12:10
(2) 6月2日(金) 開会式・矢渡し 12:20～12:50
個人予選(女子→男子) 13:00～16:45
個人準決勝 17:00～17:40
個人決勝 17:50～18:30
個人戦表彰式 18:50～19:00
6月3日(土) 団体予選(1回目) 9:00～12:00
団体予選(2回目) 12:00～15:00
団体予選(3回目) 15:00～18:00
決勝リーグ進出校決定競射 18:00～18:20
6月4日(日) 団体決勝 9:00～11:40
納射 12:00～12:10
閉会式 12:30～12:50
- 6 競技方法
(1) 団体競技
①予 選 各自12射, 計60射を行い、的中上位より男女各5団体を通過とする。
②決 勝 リーグ戦で行う。同中の場合は各自1本ずつの競射を行い、勝敗を決定する。
また、同率の場合は総的中数により順位を決定する。
総的中数も同数の場合は各自1本ずつの競射を行う。
③その他
ア、決勝リーグ戦の立順は抽選による。
イ、決勝リーグ戦の同中競射1本目は替矢を使用する。
(2) 個人競技
①予 選 各自8射を行い、男子は6中以上、女子5中以上を予選通過とする。

②準決勝 各自4射を行い、男女とも3中以上を準決勝通過とする。

③決勝 射詰競射により順位を決定する。

④その他

ア、予選・準決勝の通過者の人数によっては、上記の通過的中数を下回っても順位決定のための競射等を行う場合がある。

イ、女子準決勝、男子準決勝、女子決勝、男子決勝の順に試合を行う。

ウ、上位より順に決まるように試合を運行する。

エ、的は36cm霞的とする。但し、個人決勝競射において、4射目までの的中が続いた場合、5射目以降は24cm星的を使用する。

オ、最上位者、全国高等学校総合体育大会および東北高等学校弓道選手権大会出場者を決定する場合に限り射詰とし、その他は遠近法による。

7 参加資格

(1) 基本要項に準ずる。

(2) 各地区予選を通過した団体・個人及び前年度県新人弓道大会で優勝及び準優勝した団体とする。

〈団体〉

団体	置賜	村山	最北	田川	飽海	前年度新人大会ベスト2	計
男子	5	6	2	2	2	2	19
女子	5	7	2	3	2	2	21

〈個人〉

各地区個人予選会において8射5中以上の者。

8 参加制限

(1) 団体競技のチーム編成は監督1名選手7名以内とし、先発メンバーは記載順に5名とする。

(2) 団体監督…1校より男女とも参加する場合は、監督を別々にする。

個人監督…1校より団体戦にも参加する場合及び男女とも個人戦に参加する場合は同一人が兼ねても良い。

9 参加申込及び宿泊申込

基本要項に準ずる。ただし学校ごとの申込とは別に、参加申込データを下記アドレスに送付すること。

データ送付先：酒田南高等学校 澁谷 尚 宛

E-MAIL : hisashi@sakataminami-h.ed.jp

締切：5月17日（水）17時

10 表彰及び獲得権

(1) 表彰

① 表彰は基本要項に準ずる。

② 皆中賞（個人予選及び準決勝12射皆中）、射道優秀賞（男女各1団体、各1個人）を与えることができる。

(2) 獲得権

① 全国高校総体弓道競技会出場権は、男女共に団体各1位、個人2位まで。

② 東北高校弓道選手権大会出場権は、男女共に団体各2位、個人上位6位まで。

11 連絡事項

- (1) 公式練習は行わない。ただし、初日の開会式の前に、試合会場を練習会場として開放する。
時間は下記の通り。

9 : 30 ~ 9 : 45 飽海地区
 9 : 45 ~ 10 : 10 田川地区
 10 : 10 ~ 10 : 25 最北地区
 10 : 25 ~ 10 : 55 村山地区
 10 : 55 ~ 11 : 30 置賜地区

- (2) 四ッ矢及び替矢を持参のこと。矢返しはしない。
 (3) 立順の変更は認めない。監督会議を含め、選手の交代は3回認める。
 (4) 行射は個人戦・団体戦とも予選のみ立射とし、それ以外はすべて坐射とする。
 (5) 服装は次のとおりとする。

- ① 練習及び競技とも、弓道衣は白、袴は黒または紺の無地、白足袋を着用のこと。
- ② 学校標識マークを右腰に表示すること。
- ③ 鉢巻を使用する場合、無地で長さは肩までとする。
- ④ リボン・ピアス等の装身具類は着用しない。
- ⑤ ゼッケンは次の要領で作成し、右腰前につけること。

ア、布地は白色、大きさは縦12cm、横18cm。

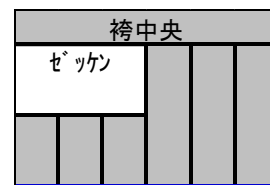
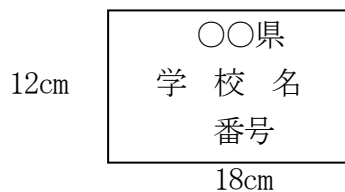
イ、県名、学校名は黒色、選手番号を男子は黒、女子は赤で記入。

エ、選手番号は、団体選手は1～7の団体内立順番号。

ウ、規格および記載例（「県」・「高校」の文字はなくてもよい）

(団体競技)

(取付位置)



エ、個人戦については様式を問わないが、学校標識マークを右腰前につけること。

- (6) 競技時間の制限については以下の通りとする。
- ① 団体予選の行射時間は7分とし、6分30秒で予鈴、7分で本鈴の合図をする。
 - ② 団体決勝の行射時間は8分とし、7分30秒で予鈴、8分で本鈴の合図をする。
 - ③ 弦切れ、その他の自団体における事故が生じてても時間の延長はしない。ただし、審判の指示により競技が停止された時間は制限時間から除外する。全ての場合、発射は立の順とする。

- (7) 競技役員は、参加校の顧問がこれにあたる。

- (8) 前年度優勝校（個人も含む）、準優勝校は優勝旗・楯を持参のこと。

男子 団体 優勝 山形工業 2位 鶴岡工業 個人 優勝 加藤直人（山形東）
 女子 団体 優勝 鶴岡南 2位 谷地 個人 優勝 剣持 梓（鶴岡北）